

# 加治木町 広報

2戸一枚配布・もれなく回覧

### 人口の動き

昭和39年(4月1日現在)  
◎世帯数 4,962  
人 口 19,616人  
男 女 9,156人  
10,460人  
◎3月中の出生死亡  
出生 27  
死亡 17  
転入 127  
転出 96

### 加治木町を美しく

1. ちらさない
2. よごさない
3. こわさない

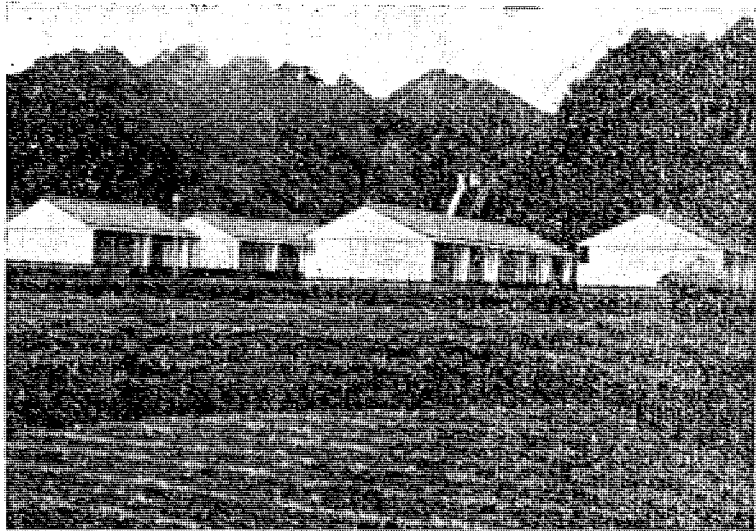
## 昭和39年度当初予算決まる

### 「土木、産業、教育振興を柱に」 健全財政の確立をはかる

昭和三十九年度定例第一回町議会は、会期十九日間にわたりさきほど開催され、この議会で三十九年度予算を上程した曾木町長は本年度の施政方針を次のとおり発表した。

はしがき  
昭和三十  
九年度の本  
町一般会計  
及び下水道  
と国民健康  
保険の二事  
業の二特別  
会計予算案  
の上程にあ  
たり、新年  
度町政執行  
についての  
所信を表明  
し、併せて  
内容につい  
て、あらま  
しを説明し  
た。昨年の三  
月現年度予  
算の当初予  
算を上程し  
たに併せて  
審議するに  
当たり、私共  
職員一体と  
なつて町政  
に邁進する  
決意を新た  
にし、まず道  
路、河川、橋  
梁の改修を  
推進し、町  
業中小企業  
の育成をは  
かり、工場  
誘致に努力  
して経済伸  
長を考慮す  
ること。

次に、文教施設の整備をなし立派な第二の町民の育成に努力することの三つの柱をもつて仕事を進めてまいり、これに関連する諸事業をそれぞれ着実に執行しながら町民の幸福を求めてゆくことを表明いたしました。



38年度公営 高井田団地 39.3.25竣工

この間徴力で完全な成果のあつたとは申し上げられませんが、おのおの所期の目的を達しつつ今日に至りましたことは、議会の活潑な活動は勿論関係方面と町民ご協力ご理解の賜であり私はこの機会に衷心感謝の意を表したいと思います。

#### 前年の反省

前述の第一及び第三の点で目に見えるものは今更ことで申し上げなくてもよいことだと思ひます。第二の生産や経済の動向について附言します。

と、農所得はこの一年間に約十五%伸びたと知事は発表していますが、本町について見ますと町民の所得は三十七年度で六億六千万、三十八年度で八億一千万となつています。これは本町に諸官庁勤務者が多いことも原因の一つでありました。一方協和退職金支払いがあつたことなどが主な原因と見られますが、その他の方々についても農家収入も相当見られるべきものがあつたかと思われまふ。

従つてこれらの購買力が強くなつたために商家の収入も

或る程度の増は見えてはいいのではないかと推測いたします。工場関係家屋も約三千二百坪増加されましたし、これを含み新増築家屋も金額にして四千万円以上になつて居るようでありまふ。

この中で農業関係で見ますと、三十八年度は米作で二五二〇〇千円、五五〇千円、〇〇〇千円の増葉タバコで五四〇〇千円、〇〇〇千円の増、からいもで七三、五〇〇千円と見て一八、〇〇〇千円の増、野菜関係では秋野菜が値が出まさんでしたがそれでも三四、〇〇〇千円程度で一、〇〇〇万円の減だつたと思ひます。麦雑穀は二、〇〇〇千円程度の減でこれは作付面積の減で減つたと思ひます。てんさいで二〇〇千円程度の増、林業関係で総額二〇、〇〇〇千円で昨年と大体同じだつたと思ひます。

その他畜産、養鶏、酪農等も若干増加を見たと見えます。かくして総生産額は七五、〇〇〇千円となりまして一戸当たり二十三万円程度の増となつて居るようでありまふ。

勿論これは素収入見積であり実収入は二分の一から五分の三程度と見てもよいでしょう。また消費部門の増も考えねばならないと思ひます。試みに農協の預金高を見ますと三十七年度が一億三千五百万円、三十八年度が一億八千五百四十万円となつており本年三月決算においては前年度同期より五千万円増の一億六千万円となつて居る模様であります。また市中銀行分については発表の限りでないと思ひます。郵便貯金のぞいで見ますと三十八年三月末現在の予金高は二四、〇八一万円であり町民一人当たり十二万円強であつたのであります。三十九年二月末で三一、〇五二万円、町民一人当たり十五万五千二百六十円となり、総額で六、九七一万円、一人当たりで三四、九五四円と増となつて居ります。消費的な支出の多い苦しい昨今であります。こう言う貯蓄金が出てまふよりも、さう言う事は誠によろこ

たばこは  
町内で買  
ましよう。

の住宅課長と面談いたしました。この住宅公社の關係敷地の買収地といたつたことを成るべく早く具体化してまいりたいと言ふことをお話ししてまいつたわけでございませう。

また、一方工業高専関係或いは工場関係その他各官庁からも町営住宅の入居をなんとかがしてくれと言ひ強い申し出を毎日のように受けて居る状況でございまして、本町として徐々ではあつてもこの発展は期してよいのではないかと、言ふことは同慶に堪えないところであります。

#### 町政の基本方針

さて、かかる状況のもとでここに新年度の町政の方針をたてて新年度予算を編成することとなつたわけでありまふ。私は町の発展と町民の福祉増進のためには、やはり色々な面で環境をよくすること、これには道路、住宅、衛生、衛生然り、住宅然り、予算のゆるぎない土木方面に力を入れること、第二に産業の発展をはかり中小企業の成長特に農政に出きるだけの意を注ぐこと、そして農業の近代化を促進すること、第三に教育を向上させ立派な第二の国民を作ることに三本の柱を中心に行政を推進してゆきたいと思ひました。

これと同時に住みよい町とするためには成るべく税金を安くおさへることが大事だと思ひます。私は当初一千万円の町民税の軽減と言ふことを案として考へたのであります。が、才出に對する財源関係もございましてこれを一挙にもつてゆくことがどうしても不可能でありましたので本年度はとりあえず七百六十万円程度を減税することとしました。これらの基本方針をもつて以下予算案を編成いたしましたので、そのあらましを説明いたします。

### 納税にご協力を

#### 4月の納税

—軽自動車税全期分—

#### 5月は

固定資産税1期分と  
国民健康保険税1期分です。

- 次の方々から町社会福祉協議会に香典返しとして、寄附をいただきました。
- 一金貳千円也 (向江町)
  - 一金貳千円也 田中高雄殿
  - 一金參千円也 (本町) 新名恒典殿
  - 一金貳千円也 (上川内) 山下純男殿
  - 一金壹千円也 (下東木) 犬童鉄男殿
  - 一金參千円也 (萩原) 市來政経殿
  - 一金壹千円也 有川和子殿
  - 一金五千円也 (天神) 藤本秀雄殿
  - 一金參千円也 (西岩原) 仁田杉雄殿
  - 一金貳千円也 (岩原) 木村重忠殿
  - 一金貳千円也 (天神) 原田経夫殿
  - 一金壹千五百円也 (楠園) 杉森善次殿
  - 一金貳千円也 (吉原) 中園雪代殿
  - 一金參千円也 (本町) 藤岡門佐殿
  - 一金參千円也 (南沙入) 宝藏新蔵殿
  - 一金壹万円也 (富浦谷) 山下キヨ殿
  - 一金貳千円也 (萩原) 西村国雄殿
  - 一金壹万円也 (竹下) 中摩直一殿
  - 一金貳万円也 (竹下) 中摩直一殿
  - 一金貳千円也 (萩原) 堀ソヂ殿

香典返しを寄附

管理の処理体制や方法の近代化をはかることとして、所要の人員費をはじめ事務改善に要する経費を計上いたしました。その他工務費増減対策として多少の計上をいたして総計三十七、四二二千円と、これが町全体予算の十七%にあたりて居ります。

△民生費△

民生費ですが、一、三一六万円が全体の六%になつて居ります。昨年に比べて百万円増ですが児童館の建設を当初考へておりました。最後まで問題としたわけですが払い下げられる土地が未だ決りませんので後日措置すると言ふことになりました。

△衛生費△

衛生費は六、九一八千円で全体の三%になつて居ります。昨年は公衆浴場建設費三四〇万円ありましたものをこの度減じられなくなつたので、人件費その他が増額されました。活動に支障のないよう手配をいたして居ります。昨年赤痢の発生を見まして、これについても町としては充分な考慮を払つていく必要があると思ひまして噴霧機の購入や薬剤の購入について可能な予算は計上しておいたわけ

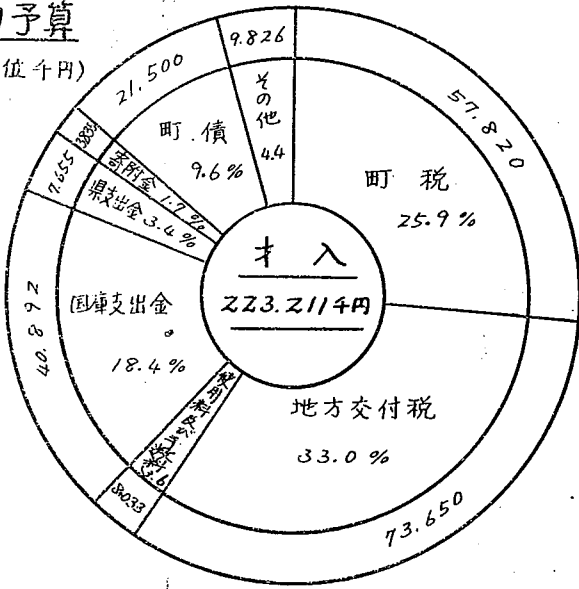
△農林水産費△

農林水産費は二、九二九千円で昨年に比べて一、五三二千円の増で全予算の十一%を占めて居りますが、就業者の月額を上げることに居ります。また、資材費の増額をした

もであり居ります。年間就労人員を三〇、三三二人に計画いたしまして道路改良は地久里線、外五線一、九二三メートル吉原橋改良築造門橋舗装道路の問題、アスファルト舗装一ヶ所、コンクリート舗装一ヶ所、側溝整備上場地帯八九五メートル、市街地一、一七〇メートル計二、〇六五メートル、暗渠八〇メートル、コンクリート擁壁二ヶ所その他であり居ります。砕石二、四〇〇立方メートル、山砂利三、〇〇〇立方メートル、道路の不陸直し四、五〇〇立方メートルで道路補修にあつて、市街地の暗渠側溝清掃にあつてまいりたいと思ひます。この失業者対策は本町の土木事業に占める割合が大き過ぎますので、少しずつでも力を入れて、この事業を推し進めてまいりたいと思ひます。

昭和39年度当初予算

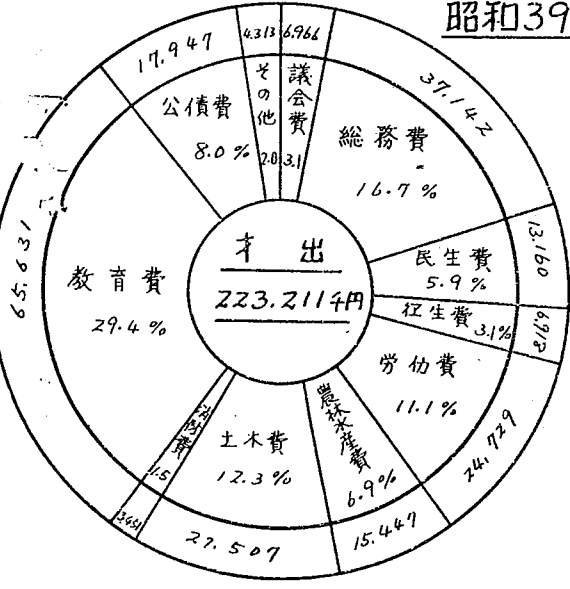
(単位千円)



を押しのけながら発展していただきたいと念ずるわけであり居ります。それには、やはり加治木で買物をしていただくために商家ご自分でそれだけ研究して努力していただく必要がありはせぬかと言ふ事を考えます。商工会等活発な活動を更に期待しているわけであり居ります。

△土木費△

土木費二七、五〇七千円で全予算の十二、三%に当り昨年度より四、〇二二千円の増額であり居ります。道路修繕費とし



都市計画事業では、女学校通り線の舗装工事と県工事の天神通り線の改良工事が七百万円近くかかる見込みですが、その実現には中央と更に交渉連絡せねばならぬところが、役場としても努力して実現いたしたいと思ひます。これについて負担金を計上することにはいたしたわけであり居ります。本年は網掛川、日本山川改修費一、六〇〇万円の中の一割位の負担となるわけですが、網掛川下流左岸、長年寺橋架替等が計画されて居ります。

△教育費△

教育費は総計で六五、六三三千円となつて居り、総予算の約三〇%に達します。本町の教育委員会が五ヶ年計画を打ち立てられました。教育施設内容整備事業に二ヶ年の月日が過ぎて今年が二年目になるわけでありまして出来るだけ教育委員会の線を取り上げるべく心掛けたつもりであり居ります。昨年度の予算に比しまして二四、九二九千円で、六、三%に当る増額であり居ります。

△収入

収入の一番元をなすものは町民税であり居りますが、政府は町民税の課税方式の但し書方式を改め本文方式にするよう自治省で計画いたしました。この計画は、いろいろ議論がありまして結局四十年以降に実施することになりました。三十九年度分は本文方式のほかに但し書方式を本文方式に近づける為経過措置をとることになりました。本町としては従来地方税法に示す準拠税率よりいくぶん高目の超過税率を使つて居りましたので、この際国の考え方を取り入れ町民税の可能な限り減税を実施することになりました。

この方式を町の方式として取り上げて昨年の実績に対して七百六十万円位を減らすこととなりました。個人所得はまだまだですが一方で少くなつた人もあり居りますが、増加した人も出て来ているようでありまして、純所得を昨年の十五%位増と見込み、税率改正を行ふ事により、操作いたしまして現年度繰越分を含め一七、八四二、〇〇〇円の計上をなすこととしました。固定資産税、土地家屋は三十九年度から評価制度の改正をする事になり、その準備を着々進めて来たわけであり居りますが、最後に政府案として評価替えに伴う固定資産税の調整をすることに成りました。そこで本町としても検討を加えたわけであり居ります。農地については前年度と同額とする、宅地山林は一、二倍とすることにした。三十九年度当初予算では土地は地目交換等を考慮し三十八年度実績をもとに考えました。家屋は新築を認め、また償却資産では協和醸造の税金の減等を計上に入れて二四、三〇八千円となり昨年より約三〇万円減といつたわけであり居ります。

その他の諸税中煙草消費税は一、六%増等も計上していますが、電気ガス税都市計画税を合わせて町税総額は五七、八二〇千円となり、前年度に比しわずかに一、四五九千円の増にとどめたわけであり居ります。これが総収入の二五、九%に当ります。

次は地方交付税であり居りますが、政府の予算案の内容等を検討いたしました。また地方交付税等を検討し、また地方交付税の総額と単位費用の改正等を元々昨年度と比較検討いたしました。その結果三十九年度の本町普通交付税六〇、九九四千円の約二十%増即ち七三、六五〇千円程度と見積ることは今日の場合あるいは強いのと言えますが、まあまあ妥当ではあるまいかと、言うよう見解に立ちました。これを収入の一三三%に当て居ります。この他使

農村三作運動を強力に推進しよう

- 運動の目標**
- ◆ 仲間づくり (新しい農業者の仲間をつくらう)
  - ◆ 物づくり (商品性の高い物をつくらう)
  - ◆ 環境づくり (住みよい働きよい環境をつくらう)

一、二五〇千円で三、六%、国庫支出金四〇、八九二千円で十八、四%、県支出金七、五六五千円で三、四%、諸起債を合せて二一、五〇〇千円で九、六%、寄附金これは屋体給食施設その他工事関係に出して居りますが、そう言うような寄附金を三、八三五千円、五八七千円で、財産収入一、五八九千円で、七%、諸収入が七、二四三千円で三、二%と言ふような諸収入を持ちまして収入合計は合計二二三、二一〇千円といつたわけであり居ります。

これで見ますと自己財源が極めてほしいようであり居りますが、特に、伸びて居りました人件費需用費等が織り込まれたわけであり居りますが、近年役場の事務も大変多くなり、まためんどうになりまして、町民各方面から要請されて居ります。従つてこのよう大型予算を編成せざるを得なくなつたわけであり居りますが、これを持つて今後調整にあたる覚悟をきめたわけであり居ります。全員前向きな態勢で町発展のために最大の努力をいたすむける言ふ事に覚悟をいたすおろるわけであり居ります。

(スペースの関係上特別会計の水通及び国民健康保険関係は次号(93号)に掲載することに居ります)